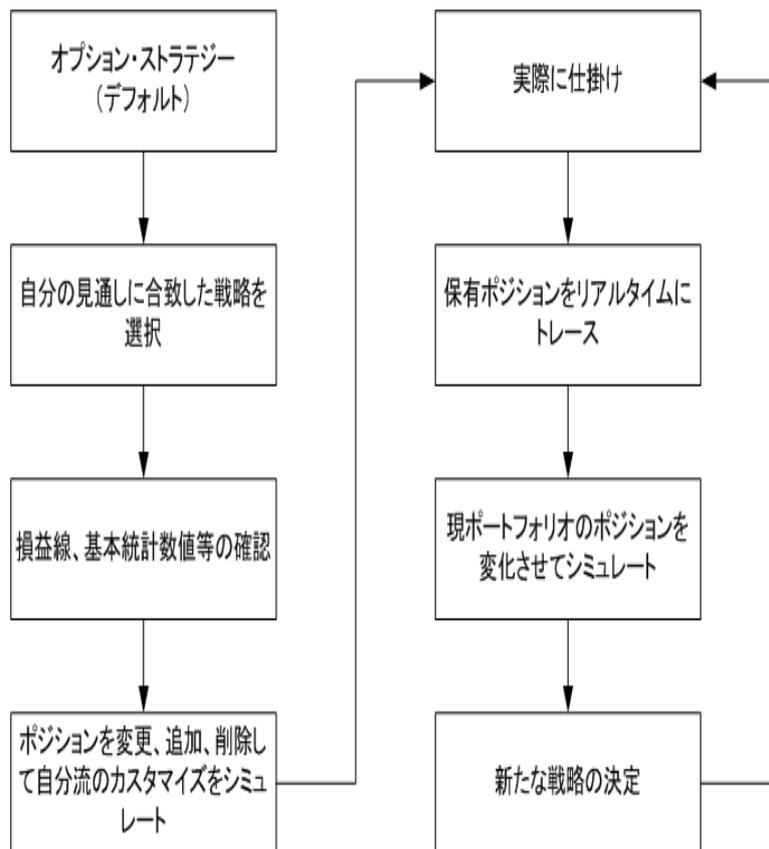


# オプション取引サポートツール

## 『トレーディングサポートJ-GX オプション・ストラテジー』について

- お客様の相場観に合ったオプション・ストラテジーを見つけることができます。
- お客様のポジション管理をリアルタイム時価ベースで把握できます。
- ポジションの追加・取消し等、ポジションのシフト・入れ替えをわかりやすく分析できます。



# 1. オプション価格

日経225だけでなく、TOPIXのオプション価格もリアルタイムで表示できます。

オプション価格
理論価格
ストラテジー
オプション管理
シミュレーション

◀ ▶
日経平均 TOPIX
▲ ▼

CALL					日経平均 OP 1207	PUT				
現在値	前日比	始値	高値	安値	権利行使価格	現在値	前日比	始値	高値	安値
1	+0	1	1	1	9750	(気配)	-	-	-	-
2	-1	2	2	2	9500	(気配)	-	-	-	-
6	-3	7	7	6	9250	595	-15	585	595	585
25	-9	29	30	25	9000	360	-10	360	360	355
90	-20	100	100	90	8750	180	+10	170	180	170
230	-30	245	245	230	8500	75	+0	70	75	70
435	-5	465	465	435	8250	29	-1	27	29	27
690	+40	700	700	690	8000	12	-2	12	13	11
(気配)	-	-	-	-	7750	6	-1	7	7	6
(気配)	-	-	-	-	7500	4	-1	4	4	4

日経225OP C 8750 201207 行使価格

90 ↓ -20 09:20 総出来高 328

日中(06/27)		建玉残		夕場(06/27)	
始値	100 9:00			始値	110 16:30
高値	100 9:00	812	110	高値	115 16:35
安値	90 9:10	1,081	105	安値	90 0:17
終値	90 9:20	1,035	100	終値	105 2:43
出来高	328	1,202	95	出来高	436
		28	90		
			85	999	前日終値
			80	1,111	110
			75	1,140	前日夕場終値
			70	869	90
			65	872	+0 +0.00 %

0101

日経平均 指標 0101

8649.80 ↓ -14.19 -0.16 % 09:22

前場

始値	8677.76 9:00
高値	8677.76 9:00
安値	8649.80 9:22
終値	8649.80 9:22

後場

始値	
高値	
安値	
終値	

前日終値 8663.99

売買代金 0円

(注) 当社ではTOPIXオプションの取扱いはございません。

## 2. 理論価格

オプションの理論価格を満期日まで計算

- ・日数の経過によって時間価値がどう減っていくのか
- ・権利行使価格の違いによって理論価格がどれだけ違うのか  
→わかりやすく表示されます。

オプション価格														
理論価格														
ストラテジー														
ポジション管理														
シミュレーション														
ボラティリティ														
日経平均	TOPIX	8649.66	日経平均	OP201207	現資産価格	8653.19	ボラティリティ	20	配当利回り	2.25 %	金利(年率)	0.18 %		
経過日数	CALL							PUT						
	8000	8250	8500	8750	9000	9250	9500	8000	8250	8500	8750	9000	9250	9500
1	649	415	220	100	20	6	1	3	19	73	194	381	610	855
2	649	413				5	1	2	16	69	189	378	608	854
3	649	411	211	81	22	4	0	2	14	64	184	375	607	853
4	649	410	207	76	19	3	0	1	12	59	178	371	605	852
5	649	408	202	71	16	2	0	1	10	54	173	368	604	852
6	649	406	198	66	14	2	0	1	8	49	167	365	603	851
7	650	405	193	60	11	1	0	0	6	44	161	362	602	851
8	650	404	188	54	8	1	0	0	4	38	154	359	601	850
9	650	403	183	48	6	0	0	0	3	32	148	356	600	850
10	651	402	177	41	4	0	0	0	2	26	140	353	599	849
11	651	402	171	34	2	0	0	0	1	20	132	351	599	849
12	652	402	165	26	1	0	0	0	0	14	124	349	598	848
13	652	402	159	17	0	0	0	0	0	7	114	348	598	848
14	653	403	154	7	0	0	0	0	0	2	104	347	597	847
15	327	202	77	-48	-173	-298	-423	-327	-202	-77	48	173	298	423

### 3. ストラテジー

お客様の相場観に合うストラテジー（ポジション）を見つけて損益やリスクを予測・分析できます。

**選択**

**ポジション表示**

**ポジションの内容変更、追加、削除**

**経過日数を入力してその時点の想定損益を算出**

一覧の中から、自分の相場見通しに合ったストラテジーを選択

選択したストラテジーの詳細を表示

- ・ ATMのポジション内容
- ・ 損益線
- ・ 基本統計数値

選択したストラテジーをベースに自分流にポジションをカスタマイズ

- ・ ポジションを追加、削除
- ・ 将来の想定損益を試算

経過日数時点での想定損益試算

経過日数	原資産価格
ボラティリティ	配当利回り
金利(年率)	
想定損益	想定損益計算

基本統計量

デルタ	-0.87	最終損益
ガンマ	0.00356	最大益
シータ	-12.53	最大損
ベガ	19.94	損益分岐点1
ロー	-3.30	損益分岐点2
オメガ	-21.91	

原資産価格 8648.45 経過日数 06/27  
配当利回り 2.25 % 金利(年率) 0.18 %

## 4. ポジション管理

複数の証券会社で建てている場合は、ポジションをまとめて入力すれば、お客様のオプション・ポジション全体での損益とリスクを把握できます。

オプション価格 理論価格 ストラテジー **ポジション管理** シミュレーション ボラティリティ

ポジション編集  
グループ  種別 CALL 限月 201207 行使価格 8750  買  売 単価 110 単位数 1

[20]行目を編集します

#	銘柄	権利行使日	種別	行使価格	売買	単価	単位数	取得価格	時価	時価評価額	損益	損益率
<input checked="" type="checkbox"/>	日経225OP	201207	CALL	8750	買	110	1	110	90	90	-20	-18.2%
<input checked="" type="checkbox"/>	日経225OP	201207	PUT	8750	買	170	2	340	180	360	20	5.9%
(合計)								450	450	+0	+0.0%	

1ページ20銘柄  
×  
5ページまで登録可能

✓を付けたものだけが、次画面の「シミュレーション」画面に反映されます。

余裕資金 -450 評価損益 +0 (評価損 -20 評価益 +20)

## 5. シミュレーション

「4. ポジション管理」で入力した自分のポジションを自由にカスタマイズして損益・リスクを様々な角度から分析できます。

オプション価格 理論価格 ストラテジー ポジション管理 **シミュレーション** ボラティリティ

CALL	日経平均 OP 1207	PUT
現在値 前日比	行使価格	現在値 前日比
1 +0	9750	(気配)
2 -1	9500	(気配)
6 -3	9250	595 -15
26 -8	9000	370 +0
90 -20	8750	180 +10
235 -25	8500	75 +0
435 -5	8250	28 -2
690 +40	8000	13 -1
(気配)	7750	6 -1
(気配)	7500	4 -1

基本統計量	値	最終損益	値
デルタ	-2.08	最終損益	-414.72
ガンマ	0.00607	最大益	∞
シータ	-20.04	最大損	-810.00
ベガ	33.50	損益分岐点1	9560.00
ロー	-7.72	損益分岐点2	8547.50
オメガ	-81.10		

経過日数時点での想定損益試算

経過日数	原資産価格
ボラティリティ	配当利回り
金利(年率)	
想定損益	想定損益計算

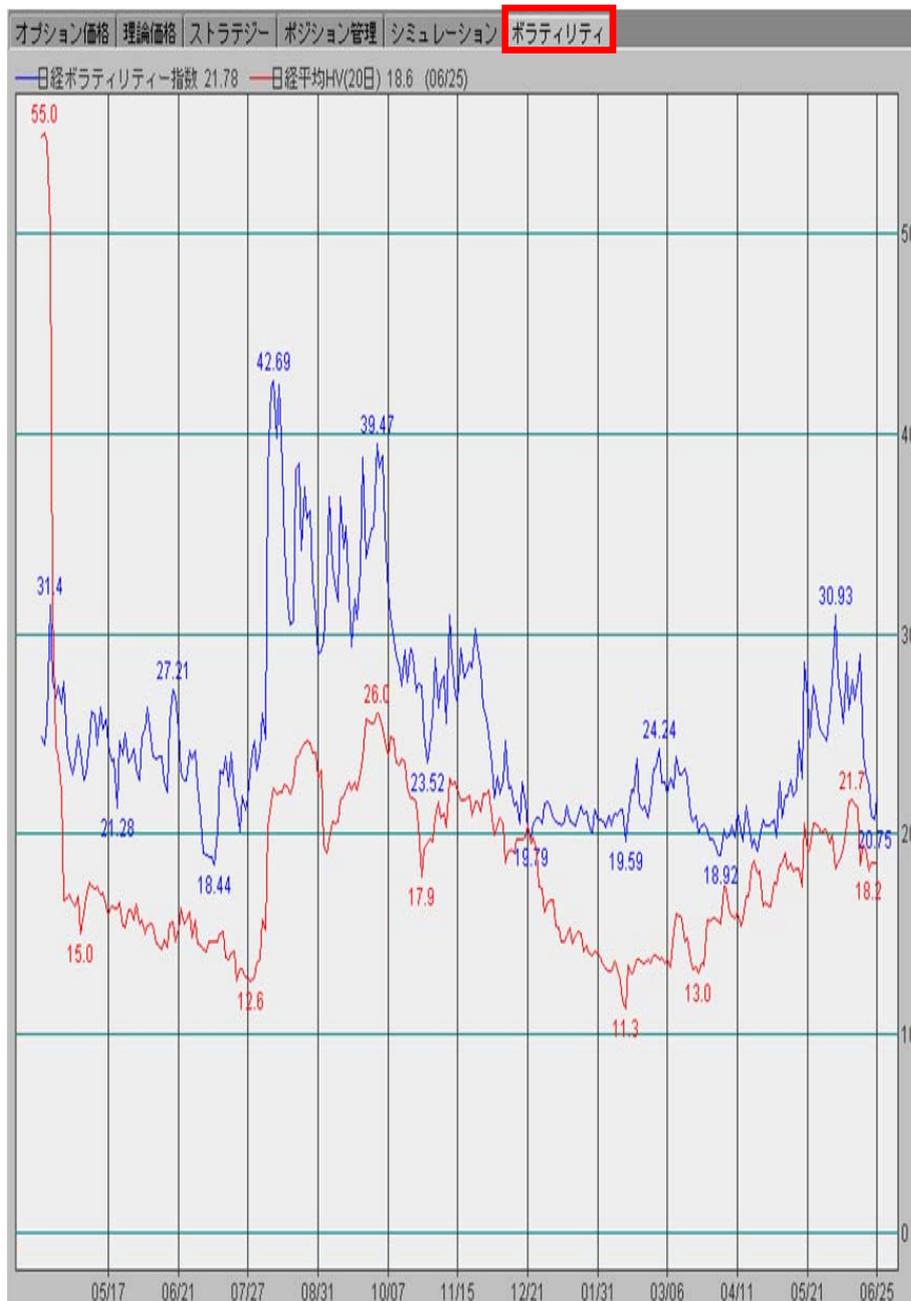
原資産価格 8651.93 経過日数 06/27  
配当利回り 2.25 % 金利(年率) 0.18 %

「ポジション管理」で✓を付けたものを表示

## 6. ボラティリティ

### [日経ボラティリティ指数]と[日経平均HV]の日足ラインチャート

- ・過去のトレンドを知ることができます。
- ・日経平均VI（ボラティティ・インデックス）先物への投資にも役立ちます。



(注) 当社インターネット取引では、日経平均VI先物の買建取引も取り扱っています。

## 7. ストラテジー(投資戦略)について

数多くのストラテジーでお客様のお取引をサポートします。

→お客様の投資戦略に合ったストラテジーを見つけることをサポートします。

No.	ストラテジー	リスク		ポジション	狙い	有効な局面
		利益	損失			

### マーケットに対して強気のストラテジー

1	合成先物買い	上昇時 ∞	下降時 ∞	コールの買いとプットの売り	先物を買うのと同じ損益線をオプションを用いてつくる。先物とのアービトラージにも活用。	相場に対して強気
2	コール買い	上昇時 ∞	下降時 限定	コールの買い	相場の上昇にベットするが、予想が外れた場合に損失を限定する	相場に対して強気
3	プット売り	上昇時 限定	下降時 ∞	プットの売り	相場の上昇時には最初に得たプレミアムの利益を確保できるが、下降時の損失は無限大	相場の見通しはやや強気だがそれほど大きな上昇とも思わない場合
4	パーティカル・ブル・コール	上昇時 限定	下降時 限定	行使価格の異なる2つのコールのうち行使価格の高いほうを売り低いほうを買う	②コール買いに③コール売りを付け足したもの。損失を限定するが得られる利益も限定される。②コール買いに比べて、コールの売りのプレミアム分だけ最初のコストを低くおさえられる。	相場の見通しはやや強気だがそれほど大きな上昇とも思わない場合
5	パーティカル・ブル・プット	上昇時 限定	下降時 限定	行使価格の異なる2つのプットのうち行使価格の高いほうを売り低いほうを買う	プットを用いて④パーティカル・ブル・コールと同じ損益線をつくるが、④パーティカル・ブル・コールよりもすぐに利益を得られる利点がある。ただし、市場価格が2つの行使価格の間にあるとき、行使される側に立つリスクを負う。	相場の見通しはやや強気だがそれほど大きな上昇とも思わない場合

### マーケットに対して弱気のストラテジー

6	合成先物売り	下降時 ∞	上昇時 ∞	コールの売りとプットの買い	先物を売ると同じ損益線をオプションを用いてつくる。先物とのアービトラージにも活用。	相場に対して弱気
7	プット買い	下降時 ∞	上昇時 限定	プットの買い	相場の下落にベットするが、予想が外れた場合に損失を限定する。	相場に対して弱気
8	コール売り	下降時 限定	上昇時 ∞	コールの売り	相場の下降時には最初に得たプレミアムの利益を確保できるが、上昇時の損失は無限大	相場の見通しはやや弱気だがそれほど大きな下落とも思わない場合
9	パーティカル・ベア・コール	下降時 限定	上昇時 限定	行使価格の異なる2つのコールのうち、行使価格の高いほうを買い低いほうを売る。	コールを用いて⑩パーティカル・ベア・プットと同じ損益線を作る。⑩パーティカル・ベア・プットと比較して今すぐに利益をいられる利点がある。ただし、市場価格が2つの行使価格の間にあるとき行使される側に立つ危険を負う。	相場の見通しはやや弱気だがそれほど大きな下落とも思わない場合
10	パーティカル・ベア・プット	下降時 限定	上昇時 限定	行使価格の異なる2つのプットのうち、行使価格の高いほうを買い、低いほうを売る	⑦プット買いに⑧プット売りを付け足したもの。損失を限定する。得られる利益も限定されるが⑦プット買いに比べてプット売りのプレミアム分だけ最初のコストを低く抑えられる。	相場の見通しはやや弱気だがそれほど大きな下落とも思わない場合

№	ストラテジー	リスク		ポジション	狙い	有効な局面
		利益	損失			

## ボラティリティについて強気のストラテジー

11	ストリップ買い	権利行使価格±プレミアムから外れて動いたとき $\infty$	購入時のプレミアムの合計に限定	同じ行使価格のコールとプットを1:2の比率で買う	相場が動かなかつた際のリスクを限定しつつ、相場が著しく上昇か下降することを狙う戦略。無限の利益を得られるが、ポジションを組むのが比較的高価である。	大きく動く相場
12	ストラップ買い	権利行使価格±プレミアムから外れて動いたとき $\infty$	購入時のプレミアムの合計に限定	同じ行使価格のコールとプットを2:1の比率で買う	⑩ストリップ買いと同様の戦略を、コールとプットの比率を逆転させてつくる。	大きく動く相場
13	ストラドル買い	権利行使価格±プレミアムから外れて動いたとき $\infty$	両プレミアムの合計に限定	行使価格と限月が同じコールとプットを同数ずつ購入	同じ行使価格のコール、プットのため⑭ストラングル買いよりもコストがかかるものの、⑭ストラングル買いよりも市場価格が動かなくても利益を得られる。方向はわからないが、とにかく相場が大きく動きそうな場合に採る戦略。	短期的に大きく動く相場
14	ストラングル買い	権利行使価格から外れて動いたとき $\infty$	両プレミアムの合計に限定	同じ限月において、任意の行使価格のプットの買いとより高い行使価格のコールの買いを同数ずつもつ	⑬ストラドル買いよりもコストを低く抑えられるが、⑬ストラドル買いよりも市場価格が大きく動かないと利益を得られない。⑬ストラドル買い以上に相場が大きく動きそうな場合に選択する。	大きく動く相場
15	パタフライコール買い	限定	限定	同じ限月で行使価格の異なる3つのコールを用い、行使価格の最も高いものと低いものを1単位ずつ売り、その中間のものを2単位買う。	相場が動かなかつた際のリスクを小さくする戦略。⑬ストラドル買いよりも小幅の変動でも利益を得られるが、最大利益は限定される。	大きく動く相場
16	パタフライプット買い	限定	限定	同じ限月で行使価格の異なる3つのプットを用い、行使価格の最も高いものと低いものを1単位ずつ売り、その中間のものを2単位買う。	⑮パタフライコール買いと同様の戦略をプットを用いて行うもの。当初、若干のプレミアム受け取りとなる。	大きく動く相場

## ボラティリティについて弱気のストラテジー

17	ストリップ売り	市場価格が行使価格±プレミアムの間にあればプレミアム分の利益	市場価格が行使価格±プレミアムから外れた場合 $\infty$	同じ行使価格のコールとプットを1:2の比率で売る	相場が小動きを予想される場合に仕掛ける。相場が大きく動いた場合の損失は無限大。	あまり動かない相場
18	ストラップ売り	市場価格が行使価格±プレミアムの間にあればプレミアム分の利益	市場価格が行使価格±プレミアムから外れた場合 $\infty$	同じ行使価格のコールとプットを2:1の比率で売る	⑩ストリップ売りと同様の戦略を、コールとプットの比率を逆転させてつくる。	あまり動かない相場
19	ストラドル売り	市場価格が行使価格±プレミアムの間にあればプレミアム分の利益	市場価格が行使価格±プレミアムから外れた場合 $\infty$	同じ行使価格のコールとプットを同数売る	相場がもみ合いで小動きと予想される場合。⑯ストラングル売りよりも多くプレミアムを得ることができる。オプションの売却額の合計が最大利益。相場が大きく変動した場合には、損失は無限大。	全く動かない相場
20	ストラングル売り	市場価格が行使価格±プレミアムの間にあればプレミアム分の利益	市場価格が行使価格±プレミアムから外れた場合 $\infty$	同じ限月において、任意の行使価格のコールの売りとより高い行使価格のプットの売りを同数ずつもつ	⑯ストラドル売りよりも得られるプレミアムは少ないが、相場がかなり変動しても利益を確保できる。オプションの売却額の合計が最大利益。相場が大きく変動した場合の損失は無限大。	あまり動かない相場
21	パタフライコール売り	限定	限定	同じ限月で行使価格の異なる3つのコールを用いる。行使価格の最も高いものと最も低いものを1単位ずつ買い、その中間のものを2単位売る。	相場が大きく変動した場合のリスクを限定する戦略だが、⑯ストラドル売りよりも最大利益は小さくなる。	全く動かない相場
22	パタフライプット売り	限定	限定	同じ限月で行使価格の異なる3つのプットを用いる。行使価格の最も高いものと最も低いものを1単位ずつ買い、その中間のものを2単位売る。	21パタフライコール売りと同様の戦略をプットを用いて行う。当初、若干のプレミアムの支払いとなる。	全く動かない相場

※上記の他にもストラテジーを多数ご用意しています。詳細は口座開設後のお客様向けサービスをご覧ください。  
 ※J-Traderの仕様上、オプション売りのプレミアムをオプション買い代金に充当できませんので、ご注意ください。

## 8. 指標について

リスク指標を数値で表示することにより、お客様のリスク管理を客観的かつ強力にサポートします。

指標	指標の意味	特徴
デルタ	<p><u>原資産価格の変動に対する、オプション価格の変動率。</u>            正のデルタは、原資産価格が上昇すればオプション価格は上昇し、下降すれば下降するという関係を示しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ロングのポジションにおいて、コールは正のデルタ値を持ち、プットは負のデルタ値を持ちます。</li> <li>• ATMではほぼ「0.5」となります。</li> <li>• ITMなるに従い「1」に近づきます。(ITMほど原資産価格と連動してオプション価格が変動します)</li> <li>• OTMになるに従い「0」に近づきます。(OTMほど原資産価格との連動性が小さくなります)</li> </ul>
ガンマ	<p><u>原資産価格の変動に対する、デルタの変動率。</u>            デルタはオプション取引において重要な指標であり、ガンマは、そのデルタがどう変動するかを分析するための指標です。            ガンマの値が上がれば、原資産価格が速いスピードをもってポジションで想定したATMに接近していることを意味します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• デルタとは異なり、ガンマはコールに対してもプットに対しても常に正の値となります。</li> <li>• ガンマ値は、ATMのオプションにおいて最も大きく、ITM、OTMになるに従い少しずつ小さくなります。</li> </ul>
シータ	<p><u>タイム・ディケイ(時間の経過)によって1日ごとに失われるオプション価格。</u>            原資産価格やインプライド・ボラティリティの変動は考慮に入れず、時間価値がどれくらいのスピードで減少するかを予想するための指標です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ロングのポジションにおいて、コール、プットともに常に負の値となります。</li> <li>• ATMのオプションは、満期が近づくにつれてシータが上昇し、逆に、ITMとOTMのオプションは、満期が近付くとシータが減少します。</li> <li>• ATMにおいて、シータは最大値となり、ITM、OTMになるに従い、値は小さくなります。</li> </ul>
ベガ	<p><u>インプライド・ボラティリティの変動に対する、オプション価格の変動率。</u>            インプライド・ボラティリティが1%変化したときのオプション価格の増減をあらわします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ロングのポジションにおいて、コール、プットともに常に正の値となります。</li> <li>• ボラティリティの変動による影響は、ATMで最大となるため、ベガはITMやOTMのオプションに比べて、ATM付近のオプションで大きな値となります。</li> <li>• また、満期までの日数が長いオプションの方が、よりボラティリティの影響を強く受けるため、満期までの日数が長いオプションのほうがベガは大きくなります。</li> </ul>

※上記はご覧いただける指標の一部です。詳細は口座開設後のお客様向けサービスにてご確認ください。